

成果の説明書

(氏名) 友岡邦之	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
A 研究の進展状況	
(1) 科学研究費助成事業関連	
基盤研究(B)「文化政策における政策評価の制度、方法、指標に人文地を応用して構築する研究」(研究代表者:小林真理)の3年目であった。本年度はコロナ禍により十分な研究活動ができなかったが、オンラインによる研究会を開催し、補完的な活動を行った。	
(2) 学会活動	
日仏社会学会研究大会(11月14日オンライン開催)のシンポジウム「都市と記憶」に招かれ、「音楽のある街」とモニュメントとしての文化ホールをめぐる合意形成手続き」と題して報告を行った(https://nichifutsu-socio.com/wordpress/wp-content/uploads/2020/10/taikai2020.pdf)。	
(3) 群馬県受託研究	
前年度に引き続き、群馬県が文化庁の助成を受けて行う新しい試み(戦略的文化芸術創造事業)について、その効果を試行的に検証する取り組みを行った。ただし、本年度も新型コロナウイルスへの対応により対象事業の多くが中止となり、検証業務の多くも変更を余儀なくされた。	
(4) 論文等の執筆	
・現在編集進行中の書籍に掲載予定の論文を執筆・提出した(未刊行)。 ・書評論文「八木良太著『それでも音楽はまちを救う』イースト・プレス、2020年」『文化経済学』18(1), 58-60, 2021 ・書評論文「野田邦弘・小泉元宏・竹内潔・家中茂 編著『アートがひらく地域のこれから—クリエイティビティを生かす社会へ』(ミネルヴァ書房、2020年3月31日刊行)」『日本地域政策研究』26号, p.129.	
B 授業以外での教育上の取組み	
(1) 大学院地域政策研究科集中講義科目「地域活性化特論」への協力	
高崎市で個人書店を営んでいる荻原貴男氏、株式会社まちごと屋としてシェアリビング施設の運営等を行っている橋爪光年氏の2名を講師とした講義をコーディネートした。	
C 地域・社会活動	
(1) アーツカウンシル前橋	
前橋市が設立した「アーツカウンシル前橋」の統括責任者として、組織の運営に関与した。	
(2) アーツ前橋運営評議会	
アーツ前橋運営評議会の副議長として、同施設に対する提言を行った。	

(3) 群馬県文化審議会

群馬県文化審議会の指針・基金部会座長として、県の文化行政の方向性に対し提言を行った。

(4) 埼玉県文化芸術振興評議会

同評議会の座長役を務めた。

(5) 群馬労働局関連業務

同局の地方審議会、地域訓練協議会の座長役を務めた。

D 学内行政

(1) 地域政策学部長

学部長およびそれに関連する業務に従事した。

2 その他の事項

(1) 文化経済学会〈日本〉個人理事

(2) 日本文化政策学会個人理事

3 次年度以降の計画・抱負

学生部長として大学組織の運営に貢献する。

研究面では、引き続き文化政策における評価制度の問題を中心的なテーマとして業務を遂行する。また、現在編集進行中の書籍（共著）を刊行する。